

1年生

・いのちは、からだぜんぶがまもっているんだなあ〜とおもいました。いのちは、一人にひとつしかないから、きをつけて一日一日たいせつにしないとなあ〜とおもった。

・けんたさんがみんなとすごくなかよくすごしてたのに、きゅうになくなってみんなすごくなしかったんだらう。

・やまだけんたくんのぶんまでいきないといけないというのがわかりました。じぶんのいのちはたいせつだとわかりました。

・人のいのちもじぶんのいのちもたいせつなんだとおもいました。これからのちをたいせつにしたいとおもいます。

・いのちは、人にとってひとつしかないものでおかねでかえないもの　なにでもかえないものでごぜんぞさまがくれたものだから一つ一つをたいせつにしなごらいのちをまもって人生をだいじにして人生をたのしむといい人生になるとおもう。

2年生

・いのちがあるからこういうふうにしゆうにあそんだりできるとわかったからいのちを大切にしようと思った。

・いのちがなくなったらもう友だちとはあそべないしにどとかぞくともあえないし友だちともあえないから、これからずっといのちをたいせつにしたいとおもう。

・わたしはあたり前にいきているけど、こんどからはちょっとでもたいせつって思っていきたいな。わたしもいきている内にすきなことした方がいいな。

・いのちはおとしたらもうにどともどらないものだからたいせつにしないといけないものだとしりました。せんそうがなくなってほしいと思いました。

・みんながふつうのように学校にとうこうしているけれどけんたくんのようにゆめをかなえられないまましんだらかなしい。

・いのちの大切さがわかった。「いのちのおはなし」を読んでいのちは時間なのをした。山田けんたさんのきもちがわかった。これからもいのちを大切にしていきたいとおもった。

命の日 感想

一人ひとりが自分のキャリアパスポートに感想を記入しました。

3年生

・みんなにはかぎりある命があるから自分の命も友だちのいのちも前よりもたいせつに思いました。けんたくんのことを去年よりもわかれたので、来年はもっとけんたくんのことをしれたらいいなとおもいました。けんたくんのおかげでわたしは前より「命」について考える時間がふえました。

・たいいくかんでけんたくんのゆめやけんたくんがしたかったことをきいて、それだけ、生きたかったとわかった。1・2年の時はまず自分の命を自分で守ったけれど、3年になってから自分の命を守るだけでなく、周りの人のことも守ってあげたり助けてあげたいって思った。

・いのちは、いつかはなくなっちゃうとわかって一日一日をもっと大切にしたいと思った。いやな言葉を友だちに言う、友達に心にのこるんだって学習できました。もっと命を大切にしていきたいです。

・今日は命の日です。命の大切さなどを知りました。命はだれにとっても大切なもの。命の木も見にいきました。わたしが一年生の日よりも少し大きくかんじました。もしけんたさんが生きていたら世界がかわっていたかもしれない。きせきでいいから、生きかえてほしいです。

・けんたくんがみんなに伝えてくれたメッセージをわすれずにがんばろうと思った。けんたくんはこうつうじこでなくなってしまったから、こうつうじこやきけんなところをちゅういしようと思った。いのちの木がどんな意味がこめられているのかわかったからこれからもいのちの木が元気に育ってほしいと思った。

4年生

・今日は命の日でとても命について考えることができました。ふだんは時々くらいにしか考えないけど、今日はたくさん考えることができてうれしかったです。前よりも命の大切さを学ぶことができてうれしかったです。自分たちが持っている名前もいのちも全部大切にしていこうと思いました。お母さん、お父さんががんばってくれた名前と命はこの世で一つしかない宝物なんだと思いました。これからもずっと命を大切にしていきたいと思いました。

・とうとう、けんたさんと同じ年になった。今、ぼくが死んだらということを考えやすい。もし死んだら、親などが悲しむし、楽しいことも、ドキドキすることもできない。今までもいのちを大切にしてきたが、もっと大切にしないといけないと思った。だから、友達といっしょに命を大切にしたい。

・命はなくしたら二度ともどらないので大切にしようと思いました。命の日の発表を聞いて、一人ひとりのちがいを生かしていきたいと感じました。命はみんなにある大切なものということがわかりました。

・命についてもっと考えたくなった。命はかぎりあるものだから大切にしていきたい。命は大切だとおもった。

・命は一つしかないからいのちを大切にすることをずっとわすれないようにしたいです。もし、だれかがしんどそうにしていたら助けてあげて他の人の命も大切にしていきたいと思います。

5年生

・命は大切に、すぐに取りかえられないし、二度ともどらないからいのちは大切にしようと思った。もっと生きたいのに生きられない人もいるのに、いじめなどでその命がなくなってしまうのはとても悲しいと思うから、他の人の命も大切にしようと思った(いじめなどをしない)。今生きていることがあたり前のように感じるけど、いつなくなってしまうかわからない命を大切にしようと思った。

・まず健太さんのお母さんから話を聞いたり、アルバムを見てみると、命があることで友達や家族と話をしたり会話できて、命がなければここにいることもできないし、会話もすることができないし、お母さんから聞いていて、命の大切さを知ってほしいという、深い気持ちが伝わって良いきかいになったと思った。

・もう5回目だけど、いつも新鮮で、毎回命について良く考えることができます。今回で思ったことは、色んな人が言っていたように、命を落とすともう二度とあいさつや会話もできなくなり、それどころか会えなくなってしまうんだなと考えました。

・命は二つの見方があって、一つは生物学的な見方でもう一つはかけがえない大切な物という見方だと思った。二つ目の考え方を、自分は大切にしていきたい。

・生きたくても生きることができなかつた健太さんはやり残したこともあるし、家族や友達とも会えなくなつてしまつたけれど、その思はビデオを見ている私たちに悲しみなどのさまざまな感情となつて伝わつてきた。明日があることをあたり前のように生きている私たちは見えないところで「死」に追いかけてられていて、油断をしてもしなくてもいつかはつかまって死んでしまう。だから本当に明日があるのかわからないから、1秒1日1時間を大切に生きようこの授業でわかつた。

6年生

・健太さんは尊い命を失つてしまつたけど、健太さんは、桜塚小学校に大切な命を教つてくれたんだなと思つた。命はいつなくなるかわからないものだから、自分や今しかできないことに進んでチャレンジしようと思つた。自分の命だけじゃなくて、友達・家族・動物・自然の命も自分の命と同じくらい大切にする。

・一人ひとりの命の大切さ・尊さを改めて学びました。たくさんの人に、その人を大切にしている人がいて、いろんな人たちのくろうがあつて、経験があつて、今の自分があるのだなと思つました。一分一分を大切に、生きていることを当たり前だと思わないで生きていきたいです。

・ぼくは何度も命の大切さを学んでいて毎年命の大切さが増えていきます。命は1人1つしかないのだから、その一つの命を大切にしていきたいです。友達をきずつけるのではなく、大切にしていきたいです。

・命の日を通して、1年生から6年生までの感想や意見を聞くことができ、自分では思いつかないような新しい意見ばかりでいろんな角度から命の大切さを知ることができた。改めて、命の大切さや今なにげなく過していることについて考えることができた。

・私にとっていのちとは一つしかないたいせつな「時間」だと思つています。命が一度なくなつたらもうもどらない。そんなことをいしきして日々すごしたいと思つました。人はまた明日があるから今はいっかと思つたりやりたいこと、やらなければならないことをあとまわしにしてしまうから、これからはやりたいことはそく実行。いつでも本気でいろいろなことにとりくもうと思つました。

・いのちの日は自分の生き方と命の大切さを考える日なので、いろんな学年の発表を聞いて、自分もこんな風に生きてみたいなと思つたし、けんたくんのお母さんの話を聞いて、けんたくんからのメッセージをしっかりと受け取つて生きていきたいなと思つた。